

「食と環境」講座 (全2回)

～食生活が地球を変える～

2月16日と3月1日の土曜日、環境情報センターで「食と環境講座」を開催し、33人が受講しました。

第1回 2月16日(土)

講義「環境未来予測と食糧問題&日常生活」

第2回 3月1日(土)

講話「輸送にかかるエネルギーについて」「我が家の省エネ対策(A重油)」、グループワーク「エネルギー負荷の少ない食生活を考えよう」

第1回

「環境未来予測と食糧問題&日常生活」

食にかかわる最近の問題や、温暖化問題などから始まり、世界各国のエネルギー使用量や食品1kgのものを1km運ぶときに発生するCO2の量(フードマイレージ)の話など、「食と環境」に関わるさまざまな話を聞きました。最後に「これからは消費電力の少ない機器を『買うエコ』、ごみになるものを『買わないエコ』を実践していきましょう」と呼びかけられました。



お話の終了後、第2回にむけて参加者のみなさんに「次回までにスーパーなどで売っている『生鮮トマト』の産産地を調べてきてください」というお願いをしました。その結果はこの表のとおり。



講師：安井至さん(独) 科学技術振興機構 研究開発戦略センター シニア・フェロー、前国際連合大学副学長)

第2回

「輸送にかかるエネルギーについて」

産産地調べからトマトが日本の各地から運ばれてくることがわかりました。産産地から食卓に並ぶまでの輸送にかかるCO2排出量などの話を聞きました。



「我が家の省エネ対策(A重油)」

実際に市内でトマトをハウス栽培している内田善知鳥さんに、生産にかかるエネルギーについてや、そのコスト削減のための工夫や苦労、トマト生産に対するこだわりなどの話を聞きました。

講師：内田善知鳥さん(さがみはらトマト倶楽部)



都道府県名	個数	都道府県名	個数
北海道	2	静岡県	7
宮城県	1	愛知県	25
福島県	9	和歌山県	9
茨城県	14	愛媛県	2
栃木県	11	高知県	2
群馬県	6	福岡県	11
埼玉県	4	佐賀県	8
千葉県	9	長崎県	10
神奈川県	7	熊本県	28
長野県	3	宮崎県	10

「エネルギー負荷の少ない食生活を考えよう」

食生活と環境について聞いてきた話をふまえて『どうすれば地球にやさしい生活ができるか』を話し合いました。



調べてきた産産地を日本地図にシールで貼って、遠い地方からも運ばれていること実感



最後に話し合ったことを発表しました。



話し合いの時も内田さんのお話は貴重なヒントとなりました。

話し合いでは「地元でとれたものを食べよう」「季節に沿った生き方をしよう」「賢い消費者になろう」などなどいろいろな意見が出ていました。今回の講座をきっかけに『旬な生活』をめざしてもらえたらうれしいです。